

9月13日：VN指数は反落、底値を固める値動きが続く

週明けのVN指数は一時、節目の1,350ポイントをつけたものの、その後は軟調な値動きとなった。

大引けにかけて利益確定売りが増加し、VN指数の終値は0.29%（3.88ポイント）安の1,341.43ポイントだった。

出来高は大きく増加し、売買代金は前日比26%増の21兆6,000億ドン超となった。VN指数は一時1350ポイントの大台をつけた。

外国人投資家も不調で、この日は3,000億ドン近くをマーケット全体で売り越した。

VN指数は狭いレンジで推移している。

「VN指数は1,350ポイントを上抜けることができておらず、短期的な利益確定売りが増えている。しかし出来高は3日増加し、50日出来高移動平均線を上回っている」（ベトドラゴン証券（VDSC））

VN指数の狭い値動きは、投資資金の流入が利益確定売りによる下落を和らげていることを示している。

マーケットでは利益確定売りが優勢である。しかし大型株の中でも複数の銘柄は大きく買われており、より機動的な投資資金がマーケットに流入しており、積極的に投資機会を探っている。

同じ見解では「マーケットでは何度か不安な時期があった。投資家心理はまだマーケットに対して懐疑的だ」（ベトコムバンク証券（VCBS））

大引けにかけて底値を拾う動きが大きく増加した。これはマーケットに前向きなシグナルである。しかし節目の1,350ポイントを前にVN指数は続けて反落しており、短期的な利益確定売りが引き続き増えている。

結果として「我々は今回新たな買付推奨を一時的に控える。そして投資家は自身の利益を守るため、ポートフォリオの株式比率を減らすことを優先するのが良い。今後マーケットで下落トレンドが続くリスクを抑えるべきだ」（ベトコムバンク証券（VCBS））

「VN 指数はもみ合っており、今後新たな局面に入るため突破口が必要となるだろう。我々の見通しでは9月14日の取引でもVN 指数は1,350ポイント付近の上値抵抗線、1,325～1,335ポイントの下値支持線の間を推移する可能性がある」（サイゴンハノイ証券）

同じように「マーケットでは節目の1,350ポイントを前に一進一退の動きが続くだろう。そのため、投資家は慎重に取引をし、新たなマーケットトレンドを待つのが良い」（BIDV証券）

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。